



▲2月1日(第一日曜) 豆まき神事



▲1月1日 歳旦祭(初詣で賑わう境内)



▲6月30日 夏越しの大祓い



▲4月9日 政成稲荷神社例祭

諏訪の杜だより



四日市 諏訪神社

【第3号】
平成26年12月号

年2回(6月・12月)発行
発行:諏訪神社氏子総代
編集:諏訪神社にこここPJ
四日市市諏訪栄町22-38
TEL059-352-2422(諏訪神社)

諏訪神社年間祭事のご案内

諏訪神社では年間を通して、伝統的なさまざまな祭典が執り行われています。本年の祭事の予定は左記のとおりです。ぜひ、ご参拝ください。また、お願いたします。
(正式決定日時はホームページで確認ください)
【平成27年の祭事予定】

- 1月1日 歳旦祭
- 1月15日 どんど(正月飾り等のお焚きあげ)
- 2月1日 豆まき神事(節分祭)
- 2月17日 祈年祭
- 4月9日 政成稲荷神社例祭
- 6月30日 夏越しの大祓い
- 8月1日・2日 山津見神社例祭
- 10月3日・4日 例大祭(四日市祭)
- 11月23日 新嘗祭
- 12月31日 年末の大祓い
- 毎月1日・15日 月次祭

また、安産祈願(妊娠5ヶ月目(戌イヌの日)(初宮参り)(生後100日目(四日市地方での風習です)(七五三)(11月15日(前後1ヶ月程度))厄年祓(節分頃とされていますが、年中いつでも差し支えありません)寿祝(年中随時)などの人生節目の行事や、合格、商売繁盛・企業繁栄、交通安全などの御祈祷も随時行っており、健やかで安全な暮らしのご加護をお祈りください。

例大祭 四日市祭開催される(10月4日・5日)

三百有余年の歴史と伝統を持つ、諏訪神社の例大祭「四日市祭」が、10月4日・5日の両日に挙行されました。残念ながらも5日は雨空となり、奉納行事の多くが中止となりましたが、舞獅子や大名行列など、伝統の行事が繰り広げられ、神恩に感謝する佳き日となりました。

また本年は、伝統の祭礼行事を継承し盛り上げるため、四日市祭実行委員会さまから氏子町のみなさまに、協賛金のご寄付をお呼びかけしましたところ、多くのご浄財が寄せられました。

裏面にご芳名を記して、厚意に感謝申し上げます。



諏訪神社にこここプロジェクト

諏訪神社を中心に、その周辺を盛り上げようとするさまざまな職業、幅広い年代のみなさんによって立ち上げられた市民活動団体で、環境整備や、神社に人が集い、多くの人が交流できる活動に取り組んでいます。ぜひ、皆さんもご参加ください。

◎主な活動

- 『なちゆる市場』(毎月15日に開催)
- 自然環境を考えた
手作り品などの即売市
- 『落語会 神笑亭』(毎年秋に開催)
- 四日市出身の
林家菊丸さんの落語会
- 『池掃除』(毎年夏に開催)
- 境内の池掃除と自然観察会



▲自然観察会



▲境内の池の掃除

知っているようで知らない豆知識 その③

「神棚とお神札(おふだ)」

日本では古くから、お正月にお迎えする歳神さまをはじめ、台所には竈神さま、井戸には井戸神さまなど、おまじない神さまをおまつりする、日々の暮らしをまかえて下さる神々の恵みに感謝してきました。近世以降は、伊勢の神宮のお神札(神宮大麻)と氏神さまのお神札、また特別に崇敬している神社があれば、それらのお神札を神棚等を設け、おまつりするところが一般的となりました。

【おまつりする場所】

静かであること、南向き、あるいは東向きにおまつりするのがよいと言われ、座敷におまつりするところもよいでしょう。

【神棚(宮形)みやがた(にじいご)】

おまつりする場所が決まりましたら、より丁寧にまつりするのために神棚や宮形を用意するようになります。宮形は、一般的に「神棚」とも呼ばれますが、厳密にはお神札をおまつりする棚を神棚といい、お神札を納めるお宮を模した入れ物を「宮形」といいます。

【神棚(宮形)のいろいろ】

一般的に、お神札(おふだ)を納めることが三つあるものを「三社造り」「一社だけのものを」「一社造り」と呼びます。



三社造り



一社造り

お神札をまつる御神座の順位は、中央を最上位とし、次が向かって右、その次が向かって左になります。

三社造りの宮形では、中央に日本人の総氏神さまである伊勢の神宮のお神札(神宮大麻)を、向かって右に地元の氏神さま(諏訪神社)のお神札を、向かって左に崇敬している神社のお神札をお納めします。その他、神社にお参りをされた際に受けたお神札は、向かって左におまつりした崇敬神社のお神札の後ろに重ねてお納めするようになります。

一社造りの宮形の場合は、神宮大麻を一番手前、その後ろに氏神さま、その後に崇敬する神社のお神札を重ねてお納めします。その他に、神社にお参りをされた際に受けたお神札は、更に後ろに重ねてお納めするようになります。

お神札の数が増えて、宮形にお納めすることができなくなるときや、宮形に入らない大きさのお神札は、宮形の横に丁寧に並べておまつります。

【お神札を取り換える】

年の暮れには、大掃除をして新しい年を迎える準備をしますが、同様に、神棚もきれいに掃除をして、新しいお神札をおまつりして新年を迎えます。古いお神札は、一年間お守りいただいたことに感謝申し上げてから、お神札を受けた神社の古神札納所等へ納めてお焚き上げをしていただき、新しいお神札をお受けします。遠くの神社で受けたお神札で納めに行くのが困難な場合は、近くの神社などにお焚き上げしていただけるか問い合わせてから納めに行くのがよいでしょう。

多くの神社では、大晦日から一月十五日(小正月)までの間に左義長やごんご焼等が行われ、正月飾りなどとともに古いお神札や、お守りなどがお焚き上げされます。

【神社本庁のホームページより】

四日市祭り協賛者「芳名一覽」四日市祭実行委員会

- 《金参萬田也》 有限会社あさひ食堂 ■諏訪神社にたいしプロジェクト
 - 《金言萬田也》 株式会社アビリティ・ミニー ■株式会社アノノ
 - エフテック株式会社 ■岡三証券株式会社四日市支店
 - 株岡本総本店 代表取締役社長 岡本 浩延
 - 株式会社サノプランニング ■喫茶店スーサロン ■諏訪町第一自治会
 - 大福餅本店 ■株式会社ティーケーシー ■フランシスビル
 - 株式会社プラトニホテル ■四日市市の祭りを愛する会
 - 相澤雪江 ■石垣 佳弘 ■佐々木 篤実 ■伊達貴一郎
 - 西村昭正 ■前田 憲司 ■水谷 義一
 - 《金伍仟田也》
 - 株式会社大塚商店 ■尾上町自治会 ■崇教 真光
 - 諏訪栄町西部自治会 ■諏訪栄町東部自治会 ■諏訪栄町南部自治会
 - 中部上新町自治会 ■東洋鋳鉄株式会社 飯田 清一
 - 内藤製鉛株式会社 内藤 孝之 ■株式会社ながむら ■浜田第二自治会
 - カルプロデュース株グループ 伊勢志摩食堂
 - カルプロデュース株グループ 芋んちゅ別邸
 - カルプロデュース株グループ 芋んちゅ四日市店
 - カルプロデュース株グループ 仲見世
 - カルプロデュース株グループ ゆるり屋
 - カルプロデュース株グループ ゆり屋次郎
 - 川口つや子 ■川村 晃弘 ■川村 素弘 ■高橋 敬子 ■吉田 周夫
 - 《金参仟田也》
 - 荒木 義太郎 ■井垣 政和 ■奥村 吉孝 ■出口 守
 - 《金式仟田也》
 - 高波 公伸 ■辻アサノ ■林 悦男 ■堀木 裕美 ■森田 いつみ
 - 《金言仟田也》
 - 石崎 保男 ■川合 よし子 ■河村 涼 ■小原 滋 ■小菅 きよみ
 - 小林 俊之 ■佐藤 ひさ子 ■舘 潮之助 ■服部 盛太
 - 丸井 蔵人 ■齋野 高子 (敬称略)
- この他にもご協賛いただいた方がおられます。

編集後記

平素からの諏訪神社への御崇敬ならびに御奉賛に對しまして、厚く御礼を申し上げます。平成二十七年が素晴らしい年となりますことを祈念いたします。

諏訪神社総代 伊藤誠一・伊達貴一郎

第3号 平成26年12月15日発行

催しや行事の詳細はそれぞれのホームページをご覧ください。

【四日市 諏訪神社】



【諏訪神社にたいしプロジェクト】

